

# 平成26年度 第13回政策推進会議報告

日 時 9月17日 9時30分～10時30分

場 所 4-1会議室

出席者 18人

## 1 平成26年度施策評価結果（平成25年度決算）について

企画財政局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）昨日、部課長向けの施策評価研修が実施され、施策評価導入の狙いや評価結果の概要を説明した。その中でもお願いをしているが、この施策評価結果に基づき、担当する事務事業について、事業の分類や成果指標が妥当かどうかなど改めて見直しを徹底してほしい。もちろんこの取組方針に基づき、事業のスクラップアンドビルドも鋭意進めてほしい。また、総合計画では、施策に関連する施策を「Link」として簡単に引けるような構成になっているので、担当する施策に関連する施策の方針や評価結果についても確認していただきたい。

## 2 平成27年度予算編成方針について

企画財政局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）平成27年度予算編成方針では、施策評価の結果に基づき、施策の重点化方向を4つ示している。

1つ目が、「子どもたちの学びへの取組と安全で学びやすい学校の環境づくりの充実」である。本市としては、学校耐震化事業とも歩調を合わせながら、まずは空調整備を実施し、その財政状況や執行状況を見ながら中学校給食導入に向けた準備を進めるという方針を掲げている。空調整備についても、初期投資はもとより維持管理についても多額の経費がかかるため、相当一般財源を捻出しなければならない。中学校給食を実施するとなるとなこのことで、ここに重点化を図るためには、全庁的な協力のもと財源を捻出していかなければならない。今回の施策評価においては、まず、担当する施策において積極的なスクラップアンドビルドを進めるようお願いしたが、今後は施策を超えて、子どもたちの学びのための環境整備に財源を集中させていきたい。行財政改革の影響を受ける市民・団体等に説明する際には、単なるサービスの見直しではなく、子どもたちの学びのための環境整備に、また、学校は避難所にもなり、地域活動の拠点としても今後活用を進めていきたいと思っているので、その環境整備に財源を振り分けるため、事業の見直しをしているという全体的なストーリーの中で説明できるよう進めていきたい。

次に、「子ども子育て支援新制度の開始に伴う関連施策の充実」である。現在でも、市単独で子ども子育て関連事業に予算を充てているが、子ども子育て支援新制度の開始に伴い国から一定の財源が交付される予定である。これまで子ども子育て関連事業に充てていた予算は継続して確保するというルールの下、国からの財源も合わせ、子ども・子育て支援に係る環境整備をしっかり進めていきたい。

そして、3つ目・4つ目の「安定した生活を送るための就労や自立の支援の充実」、「自転車対策や老朽危険空き家、街頭犯罪への対策など安全・安心を実感できるまちづくりの充実」である。自立支援や生活の安定というのは総合計画の大きな柱であり、また、自転車対策や老朽危険空き家、街頭犯罪といった市民の身近な実感に係る安全・安心にしっかり取り組んでいく。これらは行政だけではなかなか取組が進まないもので、地域住民やNPOをはじめとする地域でテーマ型の活動をしている団体等と連携して取組を進めることが大事である。行政内部についても組織や定数を強化するなど、しっかり重点化していきたい。

もちろんこの4つ以外についても施策評価に基づき積極的に見直し、見直し内容についてもきっちり説明できるようストーリー立てて取り組んでいただきたい。

- ・例年と比べて、予算編成に集約化された形で調整が行われており、局としては窮屈になっている感がある。財源の範囲内であれば、できるだけ局の考え方を優先してほしい。また、財源については、原則、施策枠内での配分になっているが、財源上それが難しい施策もあるので、局内全体の財源の中で調整させていただきたい。そして、収支見通しについて、スケジュール的にこの時期に示すのは難しいかとは思いますが、できるだけ予算編成時には収支見通しを示し、収支状況について共有化してほしい。最後に、改革改善項目に係る組合との調整である。例年であれば9月までには改革改善の大枠の調整がなされ、組合との交渉を進めることになるが、今年度からスケジュールが大幅に変わるため対応を早める必要がある。総務局において、組合との交渉について何か動きがあれば教えていただきたい。

今のところ、組合に対して改革改善の関連で交渉しているものはない。ルール上、半年前までには協議しなければならないため、それについては守りたい。

- (市長)局が主体となり、施策の中で積極的なスクラップアンドビルドを進めていただきたいというのが趣旨であるので、取組方針に沿っている新規・拡充政策であればとやかく査定しない方針であり、局の主体的な取組をお願いしたい。ただ、一定枠配分で財源を拠出している形になっているがその点のご協力いただきたい。

枠配分での財源捻出や、新規・拡充事業が例年より短い期間で作業をしなければならない点について、各局にはご協力よろしくをお願いしたい。また、収支見通しについてであるが、現在、財政課で下半期の収支見込を集約しているところであり、その結果を見ないと何とも言えない状況である。ただ、現時点での情報によると、交付税が7億円増収になる一方で、今年度は工事について資材単価や労務単価の上昇により契約差金がほとんど出ていないため、極めて厳しい収支状況になりそうだ。情報がわかり次第、適宜お知らせしていきたい。

- (市長)平成27年度向け主要取組項目では、全てを網羅的に掲載するのではなく、重点化した施策を中心にメリハリをつけてお示しする形にしたい。また、今回、施策評価が形になったということで、尼崎市男女共同参画計画の外部評価や人権教育・啓発事業の評価、尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画の実施状況に係る評価などについても施策評価に合わせて作業を統一したいので、具体的に施策評価とどう整合性を図るのか、今後の見通しを担当局と打ち合わせたい。

### 3 指定居宅介護支援事業及び地域包括支援センター等の運営基準等(素案)に係る市民意見公募手続きの実施について

健康福祉局長から資料に基づき報告。

### 4 その他

- ・企画財政局長から、「学びやすい学校の環境づくり」の今後の方向性について～総合計画キャラバンにおける意見交換を受けて～について報告。(以下、質疑等)  
(市長) 空調整備についても、学校によって施設環境が異なっており、どういう形で導入するのが費用面から見ていいのかなど整備計画のようなものを詳細に詰めていく必要がある。問題は中学校給食導入で、複数案を提示し、それぞれのメリットデメリットを比較しながら最終的な決定をするという手法を取るのがいいかと思う。今年度先進都市の視察も予定されているので、情報収集の上、複数案提案にまとめていきたい。
- ・構造改善だけで給食に係る財源を捻出できないように感じている。公共施設の再配置などで捻出された財源も充てなければ難しいかと思う。また、空調整備について「未整備校を中心に」という表現があるが、空調は古い機種になるとエネルギーコストがかなりかかり、また、メンテナンスを考えると高コストになっていることがあり、空調を置き換えることで省エネ・省コストが図られることもあるので、そういった点や集中型がいいのか分散型がいいのかといったことも含めて検討してほしい。
- ・構造改善額の15億円で足りるのか。  
現在の収支見込では、毎年30～40億円の収支乖離が生じるが、空調整備によって単純に数億円の収支乖離がそれに加わることになる。構造改善を進めることで、できるだけランニングコストについては捻出したいが、具体的な手法については今後検討する段階である。全体的な収支見込についても、空調整備をすることによって収支見込がどんな姿になるのか、適宜情報を共有していきたい。
- ・空調整備の財源を生み出すとなると、相当の覚悟を持って全局で改革改善に取り組まなければならない、具体的に項目を挙げて進めなければならない。  
(市長) これまでも企画財政局から各局に改革改善項目を提案しお願いをしてきたが、施策評価に基づき改革改善項目を再度各局に提案することも必要かと思う。局からも提案いただき、お互いに頑張って進めていきたい。
- ・企画財政局長から、Super Sweets 2014 について説明。
- ・市民協働局長から、尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会について説明。
- ・経済環境局長から、あまがさき産業フェア 2014 について説明。
- ・経済環境局長から、尼崎市と尼崎信用金庫の『市内企業の海外展開支援に関する連携協定』の締結について説明。

以上